



いま考える東シナ海の未来

～その知られざる魅力と忍び寄る環境危機～

受講料
無料

東シナ海は、日本にとって最も重要な海洋資源の供給場所の一つです。しかしその環境は大きく変動し、生物資源も急減しています。私たちがこの海域を、またその資源を持続的に利用するために、今こそ東シナ海の現状を見つめなおし、その将来を考えることが必要です。環境を保全し、生物多様性の維持を目指すためには、東シナ海の現状に対する沿岸国の共通の理解と改善に向けた取り組みが必要不可欠であり、国境を超えた研究の推進と人材の育成が重要になります。それこそが、東シナ海の未来を、また海洋立国日本の未来を救う礎となるでしょう。

本講演会では、東シナ海の「魅力」と変動しつつあるこの海域の「環境」や「資源」の現状を広く伝えるとともに、海洋環境をどのように回復・保全するか、海洋生物資源を持続的に利用するには何が必要かを討議します。

開催概要

日時 2012年 **5月16日** (水) 12:40～16:30 開場12:00 (予定)
 会場 東京・大手町 日経ホール (東京都千代田区大手町1-3-7)
 主催 長崎大学
 共催 日経ナショナル ジオグラフィック社
 受講料 **無料** (事前登録制)

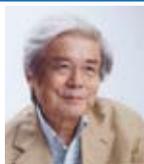
プログラム

※ 講演者や講演時間など、プログラムは変更になる場合がございます。予めご了承ください。

12:40 - 12:50 > 開会挨拶 片峰 茂 (長崎大学長)

12:50 - 13:00 > 長崎大学セミナー「海と地球と人と」のねらい
 中田 英昭 (長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科長)

13:00 - 13:50



基調
講演

『海・生物・環境を考える』
 養老 孟司氏 (東京大学名誉教授)

主な著書…『バカの壁』『からだの見方』『ほんとうの環境問題』『いちばん大事なこと—養老教授の環境論』
 『養老孟司のデジタル昆虫図鑑』ほか多数

13:50 - 14:30



講演
1

『東シナ海の海洋環境と持続可能な開発』
 寺島 紘士氏 (海洋政策研究財団常務理事)

14:40 - 15:00



講演
2

『東シナ海ではいま…
 研究現場からのメッセージ』

征矢野 清 (長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科
 環東シナ海環境資源研究センター長)

15:00 - 16:30 > パネルディスカッション

『東シナ海の魅力と重要性
 ～環境・資源を守り、
 東シナ海を持続的に利用するためには』

内田 詮三 氏 (沖縄美ら海水族館名誉館長)
 寺島 紘士 氏 (海洋政策研究財団常務理事)
 八木 信行 氏 (東京大学大学院農学生命科学研究科准教授)
 河本 和明 (長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科准教授)
 山口 敦子 (長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科教授)

お申込はこちらから ➡ <http://www.nagasaki-u.ac.jp/entry/>

セミナー参加についてのお問い合わせは長崎大学広報戦略本部まで ⇨ e-mail: kouhou@nagasaki-u.ac.jp